

氏名	田中 健一	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	生理学・薬理学・生化学				
学位	博士(医学)・薬学修士				
学歴	1989年:東京理科大学薬学部薬学科卒業, 1991年:東京理科大学大学院薬学研究科薬学専攻修士課程修了				
経歴	1995年:埼玉医科大学医学部助手, 1998年:岡山大学医学部助手, 2003年:就実大学薬学部助教授, 2007年:就実大学薬学部准教授, 2011年:埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本生理学会(評議員), 日本薬理学会(学術評議員), 日本神経精神薬理学会(評議員), 日本薬学会, 他				

### 【2016年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	薬剤師・医師・看護師を除く保健医療福祉専門職に有効な薬教育に関する研究	単著	埼玉県職員薬剤師会会報 総頁29頁(11-13)	田中健一	2016.6
(2) 論文					
1	Spinal functions of B-type natriuretic peptide, gastrin-releasing peptide, and their cognate receptors for regulating itch in mice	共著	J Pharmacol Exp Ther, Vol. 356: 596-603.	Kiguchi, N., Sukhtankar, D.D., Ding, H., Tanaka, K., Kishioka, S., Peters, C. and Ko, M.C.	2016
(3) 学会発表					
1	Effects of professional oral prophylaxia on oral hygiene and a fresh feeling	共著	第65回日本口腔衛生学会総会(東京)	Takenouchi A, Yokota I, Kakegawa Y, Arai H, Sakurai M, Tanaka K and Matsukubo T.	2016.5
2	虚血モデルマウスにおける血管新生から見た運動やビタミンC摂取の影響	共著	第22回日本心臓リハビリテーション学会学術集会(東京)	丸岡弘, 金村尚彦, 国分貴徳, 田中健一, 村田 健児, 松本純一, 善田聡史, 石神昭人	2016.7
3	歯科専門家による口腔清掃 (Professional Oral Prophylaxis)の臨床的効果	共著	第11回日本歯科衛生学会学術大会(広島)	竹之内茜, 掛川由美子, 横田行美, 新井ひろえ, 櫻井美和, 田中健一, 松久保隆.	2016.9
4	Single prolonged stress 負荷マウスの不安関連行動に関する検討	共著	第90回日本薬理学会年会(長崎)	田中健一, 八木崇夫, 浅沼幹人	2017.3
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	該当なし				

3. 教育業績			
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
(1) 講義			
1	生理学	2016.4-8.	複数の学科専攻の学生を対象とした必修科目である点を考慮して、授業毎にポイントをまとめたプリントを作成し、学生の理解を助けると共に、学習意欲の維持に努めた。
2	薬理学	2016.4-6.	複数の学科専攻の学生を対象とした科目であることに加え、必修と選択の学生が混在している点を考慮して、授業毎にポイントをまとめたプリントを作成し、学生の理解を助けると共に、学習意欲の維持に努めた。
3	臨床薬理学	2016.6-8.	薬理学とのつながりと看護学科の専門必修科目である点を考慮して、授業毎にポイントをまとめたプリントを作成し、学生の理解を助けると共に、学習意欲の維持に努めた。
4	生理学特論	2016.10-2017.2.	生理学とのつながりと理学療法学科並びに作業療法学科の専門必修科目である点を考慮して、授業毎にポイントをまとめたプリントを作成し、学生の理解を助けると共に、学習意欲の維持に努めた。
5	応用人体構造機能論	2016.4-8.	大学院博士前期課程の共通科目であることに加え、4コマのみ分担する点を考慮して、パワーポイントによるスライドやDVDによる映像資料を利用することで、学生の理解を助ける工夫をして、学習意欲の維持に努めた。
6	高次脳機能と病態制御	2016.10-2017.2.	大学院博士前期課程の共通科目である点を考慮して、パワーポイントを用いた授業を行うため、毎回ハンドアウトを作成し、学生の理解を助けると共に、学生のニーズを初回授業で確認し、出来る範囲で授業に反映させることで、学習意欲の維持に努めた。
7	保健医療福祉学際英語	2016.10-2017.2.	大学院博士前期課程の共通科目であるが、1コマだけの分担であるため、学生の英語に対する苦手意識を克服できるような授業内容を心掛けた。
8	加齢神経運動機能論	2016.4-2017.2.	大学院博士後期課程の共通科目であることに加え、2コマのみ分担する点を考慮して、パワーポイントによるスライド等を利用することで、学生の理解を助ける工夫をして、学習意欲の維持に努めた。
9	臨床薬理学 ＜緩和ケア認定看護師養成課程＞	2016.10-12.	認定看護師向けの授業であることを考慮して、授業毎にポイントをまとめたプリントを作成し、学生の理解を助けると共に、学習意欲の維持に努めている。
(2) 演習			
1	該当なし		
(3) 実習			
1	生理学実習(理学療法・作業療法)	2016.4-6.	理学療法学科並びに作業療法学科の学生向けの内容で、学生に直接実験をさせるように内容を工夫すると共に、基盤となる知識の確認を常に意識させるような指導を心掛けた。
2	生理学実習(健康行動)	2016.4-6.	健康開発学健康行動科学専攻の学生向けの内容で、学生に直接実験をさせるように内容を工夫すると共に、基盤となる知識の確認を常に意識させるような指導を心掛けた。
3	ヒューマンケア体験実習	2016.4-9.	メイン科目責任者として、総括並びに主任科目責任者を補佐するとともに、第6グループを総括した。
(4) 論文指導			
1	博士前期課程	通年	指導1名、指導補助2名
2	博士後期課程	通年	指導補助2名
(5) その他			
1	看護学科国家試験対策授業	2016.10.	看護学科4年生向けの看護師国家試験対策＜基礎医学領域＞について、問題の傾向と対策について、分かり易く、解説した。
2	埼玉県立大学における薬理学・生理学等の基礎医学科目に関する学習支援	通年	再履修の学生に対して、授業時間外の補習授業の実施と学習支援のための指導を行っている。
3	博士前期課程における修士論文審査	通年	副査1名
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ 開催年月
1	越谷シルバーカレッジ	越谷市	あなたの知らない”お薬”の世界 2016.9.
2	埼玉県立所沢北高校出張講座	埼玉県立大学	ヒトはなぜハマるのか？ 2016.10.

3	川口市学校保健主事会・養護教員部会 合同研修会	川口市学校保健 主事会・養護教員 部会	喜怒哀楽の秘密	2016.11.
<b>(2) 国、自治体、財団法人等における委員等</b>				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	該当なし			
<b>(3) ジャーナリズムでの発言</b>				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
<b>5. 学内運営(委員会委員)</b>				
1	専門基礎科目担当者会 会長			
2	研究推進委員会 委員			
3	教育開発委員会 委員			
4	大学院教務委員会 委員			
5	共同実験管理部会 副部会長			
<b>6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)</b>				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
<b>7. 特許の保有状況</b>				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
<b>8. 特記事項</b>				
	該当なし			